

「大城小学校の米づくり伝承活動の取組」

1 学校名

和泊町立大城小学校

2 学年・人数

小学1年生から6年生（計43人）

3 日時・場所

(1) 活動の日時・場所

3・4年生：総合的な学習の時間（体験活動：27，探究活動23，計50時間）

2月上旬 種まき・育苗

2月25日 代かき（3・4年）

3月5日 田植え（全学年）

5月19日 草取り（3・4年）

7月6日 稲刈り（全学年）

脱穀（3・4年）（脱穀後冷蔵保存）

10月中旬から 精米（3・4年）

11月4日 餅つき（全学年）

11月下旬 もち米販売準備（3・4年）

12月中旬 もち米販売（3・4年）

(2) もち米販売について

コロナ禍で、創立記念式典が規模縮小となり児童とその家族のみの参加となったため、もち米は、保護者への予約販売のみとした。

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事について

(1) 名称

復活，わたしたちの美田（うました）

(2) 由来

校歌に「美田（うました）下に見下ろして」とあるように、かつては米づくりが盛んだった大城小学校区。減反政策により沖永良部から水田が姿を消す中、子供たちに昔の米づくりを経験させたいとの地域・教員の願いから昭和60年に学校横に水田を復活させ、以来毎年米づくりを行っています。

5 地域との連携の具体

活動はPTAを中心に、PTAのOBや地域の方が参加する「大城小もりあげ隊」の協力を得ながら進めています。技術的な面では、地域で詳しい方に助言をいただいたり、これまでの資料を活用・改善したりしながら取り組んできました。また、餅つきでは、餅のつき方や丸め方の指導など、「大城小もりあげ隊」の方々の協力をいただいています。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

3・4年生が中心となり総合的な学習の時間で米づくりを行っています。その他の学年は、田植えや稲刈りに協力する形で体験活動を行っています。また、学校のキャッチフレーズ「祖先の知恵を受け継ぐ大城小」の具現化を期して、米づくりや餅つき大会には、「大城小もりあげ隊」の方や地域の長寿会に協力を依頼し、交流活動を行っています。

7 取組の様子



【全校での田植えの様子】



【稲刈りの様子】



【千歯こぎを使った脱穀の様子】



【保護者や地域の方も一緒に】



【親子で餅つき】



【上手に丸められたかな】

8 参加児童・保護者・保存会・教員等の感想・意見

【4年生児童】（一部抜粋）

わたしが一番楽しかったのは、親子で餅つきをしたことです。もちろん餅を丸めたりするのも楽しいですが、なんだか家で餅つきをやっているみたいで、楽しくおもしろく感じたからです。

お餅を食べるとき、あんまりお腹はすいていなかったけど、やっぱりおいしく感じました。わたしはきなこ黒砂糖を混ぜて餅を食べました。「餅つき大会はやっぱり楽しいな。」と思いました。

【教職員】

稲刈りは子どものころ以来だったので戸惑うところもありましたが、児童、保護者と協力して作業を進めることができました。精米では、2台の精米機を使い流れ作業で行いました。手間のかかる作業でしたが、きれいなお米にすることができ、児童と共に喜びました。